



# キタグチ'26 新春号

Vol.201



## 謹賀新年

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
昨年も私たちの事業にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

私たち自動車リサイクル業は、資源の有効活用と環境保全の観点から、廃車から価値を生み出す社会的責任を担っています。これまで法令順守と安全第一を基本方針とし、解体作業の高品質化と再資源化率の向上を進めてまいりました。エコドライブの啓発活動やリサイクル部品の品質保証を通じて、お客様と地域社会の信頼を一層深められたと感じております。

本年も、より一層の技術研鑽と体制強化を図り、環境負荷の低減と循環型社会の実現に向けて邁進してまいります。具体的には、解体現場の安全衛生のさらなる徹底、資源の選別精度の向上、再生部品の安定供給体制の強化、そしてデータ管理の透明性の確保を推進してまいります。お取引先様、協力企業様、地域の皆様と手を取り合い、共に成長できる年にしたいと考えております。

新しい年が皆様にとって、健康と繁栄、そして安心と笑顔に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援とご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社キタグチ  
代表取締役 北口 誠



本年もよろしく  
お願い申し上げます



ごとにトキだ  
クリスマス♪

## ～本社便り～

便り：其ノ102

『Santa came!』

2025年のクリスマス。1歳の娘の前にはじいちゃんばあちゃんから届いたびっくりする程たくさんプレゼントが並びました(笑)。



*Christmas present with LOVE*

包装をひとつ開ける度に新しいおもちゃが出てきて、アンパンマンを見たびに娘は大喜び♪それを見ている大人たちも、思わず笑顔に(^-^)  
娘はまだ全部は分からぬ年頃だけど、そのひとつひとつに、たくさんの愛情が詰まっているのは私たちには伝わってきました。こんなふうに成長と一緒に見守ってもらえることに、改めて感謝の気持ちでいっぱいになった一日でした。

文・写真/フロント 鶴田紘己

本社：熊本市南区日吉2丁目11-40  
TEL.096-357-8400 FAX.096-357-8495  
工場：宇土市新開町字東開1895-19  
TEL.0964-24-1400 FAX.0964-24-1500  
定休日：土曜日・日曜日・祝日  
営業時間：午前8時30分～午後5時30分

●●● 自動車リサイクル ●●●  
株式会社 キタグチ

## Men Of The Year 代表挨拶



▲緑川工場 生産課  
主任 松本吉弘  
1978年10月生  
今年で48歳♪

昨年はチーム全体で連携して業務対応する事が出来ました。今年はさらに健康と安全を第一に、ニーズに沿いながらお客様が満足して頂けるような部品を生産し、頑張って参ります!!宜しくお願ひします!!

今年は年男となりました。  
挑戦する心を持ち周りの人達への感謝を忘れず、仕事も趣味の魚釣りも  
ウマ馬く行く  
年になればと思います!!

緑川工場 貿易課 主任 岡本峻悟  
1990年10月生 今年で36歳♪



おっさん's  
ショートエッセイ

Because it's there.  
●●● 山と海にまつわる今と昔のこと ●●●



#008 リールと朝活と放任主義



ここが我が家の一等地だった場所  
牛深町後浜の護岸。

小学5年生のころ、いきさつは不明だが、我が家に釣りブームがやって来た。平日は朝5時半から7時迄、およそ1.5時間程釣りをするという生活をしていた。休日は言うまでもない。ハマリしたのは父だ。狙う魚はクロ(メジナ)・バリ(アイゴ)。竹竿ではどうしても釣りにくい魚だ。なので私にもリールと5m弱の竿が支給された。メーカーは覚えてないが、ガキンチョーが使うにはいっちょ前のモノだった。手にしたときの感動は一入で、飛びながらばかりに喜んだ。

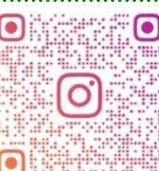
当時は護岸や地磯から遠投かご仕掛けで魚を狙っていたが、小5のガキンチョーの遠投なんてたかが知れておりポイントまでは届かない。しかもすぐに仕掛けを絡ませてしまうので、最後は道糸とサルカンを切り離し、リールに巻いてある道糸に直接針を結び、適当にカミツブシをつけてチョイ投げで魚と遊んでいた。そうなってしまうのにはもう一つ理由があって、父があまりに自分の釣りに没頭してしまうため、息子がほったらかしになってしまっていたからだ。ブームの仕掛け人はこういう時はほったらかしだった。いつもはやたら口うるさいくせに、だ・・・。仕掛けを作り直せる人はそこに居るようで居なかったから、仕方なく自分で適当に遊んでいたという次第。

でも、それはそれで楽しかった。魚は釣れたから。そのうちに餌を結べるようになって、フックミの釣りをやり始めた。目の前ではあるが、さらに深いところにいる魚を狙い始めたわけだ。糸を自分の好きなだけ出せるリールに便利さを感じていた。そして狙い通りに少し大きめの魚が掛かるようになってますます楽しくなった。もう竹竿には戻れなかった・・・。

一度はとんでもない引きの魚に当たってしまい、針からぶつちぎられてしまったことがあった。そばで見ていた知らないおじさんに“慌ててリールを巻きすぎ”“竿は立てないと”と言われたこの方が実は悔しかったりして。こんなして息子が悔しがっているときに、父はと言えば、やはり自分の沈まないウキに夢中だったのである。

沈まない浮きのイメージ(笑) 当時、父の棒ウキが「ビシッ」と沈んだのを見た記憶はないが、スカに魚が入っていた記憶はある...

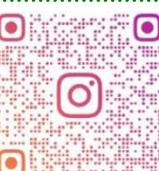
QR



公式SNS!! →

登録、フォロー、いいね!  
宜しくお願ひします!!

LINEではお問合せも  
お待ちしております♪



LINE全般

LINE買取専門

Instagram

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
25	26	27	28	29	30	31							

…休

…休



編集担当/黒鶴真哉